

2025 年度 多職種交流研修会(長島町会場) アンケート結果

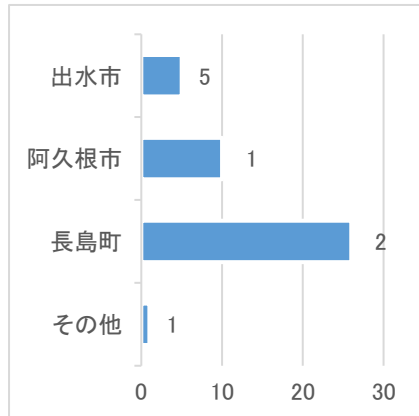
2025 年 9 月 5 日 (金) 場所：長島町開発総合センター

参加者：45 名

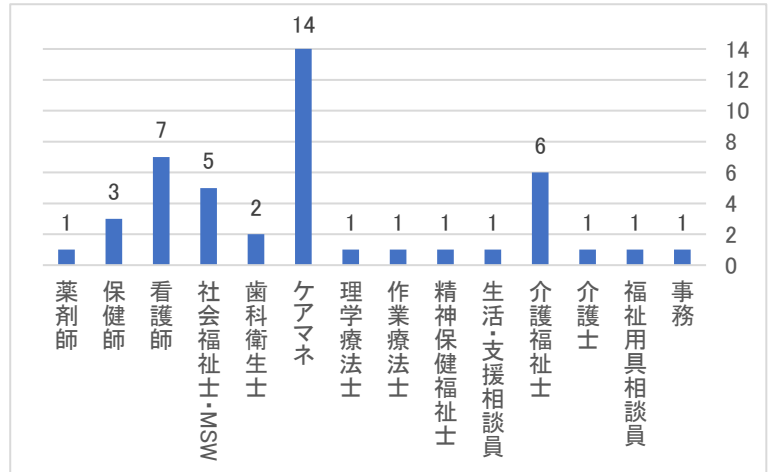
アンケート回収 42 枚

回収率 93.3%

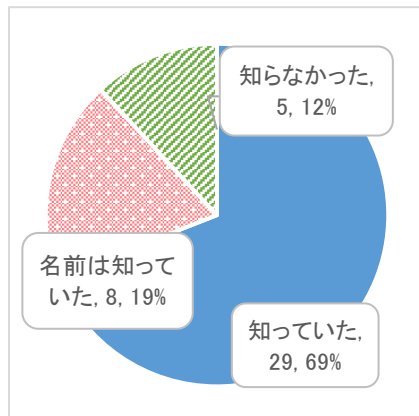
1. 勤務地



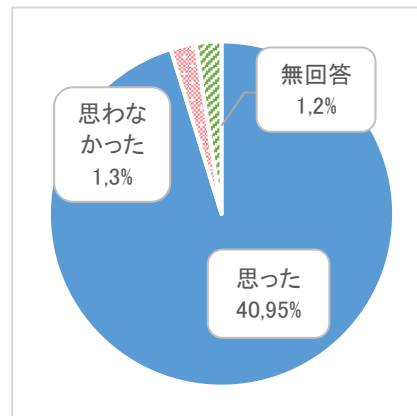
2. 職種(参加者全員分)



3. マイライフノートについて知っていたか



4. 今後の業務に本日の研修内容を活かそうと思ったか

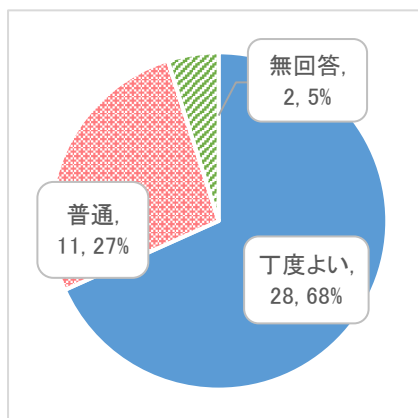


5. 研修やフリートークの中で、感じたことや印象に残ったこと

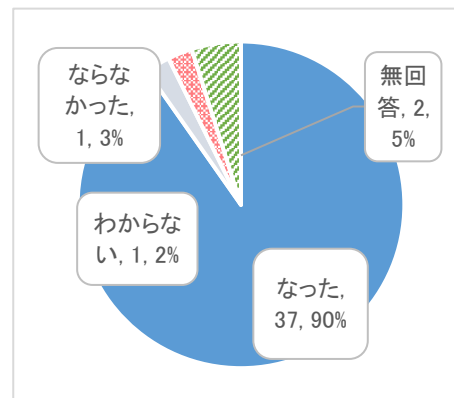
- ・いろいろ話が聞けて良かったです。勉強になりました。マイライフノートを書くのは難しいかもしれませんが、会話の中にヒントが隠されているかもしれないので、聞き逃しがないようにしたい。
- ・病気になった時にどうするか、どうしたいかなど色々書くことができたが、グループワークで話し合っ、認知症になる前に自分の意志をはっきりと書いておくのが大事だと思いました。
- ・皆さんの意見を聞き、自分と同じ思いであることに安心しました。
- ・メンバーの年齢の違いがあり、気づきを得た研修となりました。
- ・自分のしたい事や好きな事、これからの事を文章にする事の難しさと、自分自身と向き合う事の難しさを感じたとともに、もっと自分の事や自分の欲求に向き合おうと思いました。
- ・若い世代(小学生から 30 代くらい)に知ってもらい、マイライフノートを書く習慣になれば、もっと気軽に書けるのではないかな。
- ・マイライフノートを広めるための課題が少し見つかった。・今回はグループワークのみで発表がなかったため、緊張ほとんどなかった。発表があると、職場のスタッフがなかなか行きたがらないので、研修の大切さを伝えるのが大変でしたが、今日のようにグループワークのみだと出席するスタッフが増えると思います。
- ・一人一人生活は違う、価値観も違うことから、大切にしたいものが違うことに気がついた。
- ・他職種の皆さんとの交流は本当に楽しくて、たくさん学ぶ事ができました。私もたくさんのピースが拾えるようにアンテナをはっていきたいと思います。

- ・楽しくACP できました。
- ・自分が思っていた事と違った思いが、今自分が最後となった時に、両親の事や友達のことを思い出して記録を残しておけば良かったと思うなと思った。また、自分が年を重ねるごとに変わる内容だろうなと思った。これを職場でどう活かせるか考えてみたいと思います。
- ・色々な職種の方々と語らいが出来てとても勉強になった。ぜひ明日から意識して仕事に取り入れていきたい。
- ・これから家族と話し合いをしようと思った。
- ・自分の事を考える機会となり、明日から ACP に活かせるよう、入居者と関わって行きたいと思いました。
- ・本人らしさを知る、知らせる事の大切さに気がついた。人の気持ちは変わるので、時々によってコミュニケーションを通して話し合っておくといいなと
- ・ACP を書こうと思ってなかなか記入できなかった。自分を知らなすぎると痛感しました。
- ・「さあ書くぞ」とはなかなかかなりにくいでしょう。普段の会話の中から拾い上げて、本人・周囲の人が共有していくことが現実的かなと感じた。研修の機会ありがとうございました。
- ・自分で自分の事を知ることが大切だと思った。一度は記入しておきたいと思う。
- ・二度目の研修参加だったので、より自分の事について考えることができたのではないかなと思います。フリートークの中でグループの皆さんの意見に共感したり、そういう考えもあるなという気づきもあってとても充実した時間になりました。ありがとうございました。
- ・貴重な医療情報を知ることになった。
- ・若いからあまり真剣に考えられていなかったが、他の方の話を聞くと、他人事ではないと思った。もっと自分を知ろうと思った。
- ・発表しないことで楽しくグループワーク出来た。ありがとうございました。
- ・グループワークの中で自分がやることで見つかることもあるんだと改めて感じた。
- ・家族への思いを語る方が多かった。自分の事は後まわし。それは今、自分が元気で気持ちにゆとりがある証。自分が病気になったり大事な人を亡くすなどをきっかけに、ピースメモの内容は自分への思いに変化していくのではないかなと思う。
- ・他の人のピース内容を聞けたこと。年齢の差があったからこそいろいろな話しが聞けて良かった。利用者のピースはその人の事を知れるチャンスのため活用していけたらと思います。
- ・発表がないとストレスを感じることなく参加できた。・自分が利用者にサービスを提供する立場なのに、自分の親となるとまた考えさせられる。・自分のことより家族のことを優先させる方が多いと思った。
- ・グループワークでの話は良いと思います。以前、席に座った人が発表の人とか決まっていたのは良くないと思います。
- ・ACP・ピースメモを行うにあたり、訪問リハビリで取り入れることには多職種の共有が重要であると考えました。ピースメモでとるのではなく、日頃、このように話していた、語っていたことを共有することもピースメモになりうると思います。良い刺激となりました。
- ・自分の考えや想いを文字にすることで、自分自身を考える機会となった。グループワークでは、お話を聞くことができてとても貴重な時間となった。
- ・ピースメモを書くことで、自分の今までの人生どんなだったか振り返るきっかけになった。・マイライフノートは若い時から触れておいてもいいのかなと思った。
- ・文字にする事で、何となくではあるが自分を見つめ直すことができました。
- ・自分の親のピースを聞いてみようと思いました。
- ・エンディングテーマにおいてマイライフノートを記入しておきたい。

6. グループワークの時間はどうだったか



9. グループワークにて他職種がどのような関わりを行っているか知る機会となったか



2025 年度 多職種交流研修会(長島町会場) グループワーク意見

希望

- ・介護はプロに任せたい お金はかかるかもしれないけど
- ・疼痛コントロールはしっかりして笑顔でいたい
- ・できるだけ自宅で過ごしたい
- ・自宅で海が見える部屋にベッドを置いてほしい
- ・山 自然のきれいな所 海
- ・(過ごしたい場所)どこでもいい
- ・家で過ごしたいと考えていたが、老後のことを考えると、早めに施設でも良いのかと思うようになった。
- ・棺桶におにぎりを入れて欲しい
- ・薬を使って眠らせてほしい

好きなこと・物・やりたいこと・大切にしたいこと

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| ・ざらざらは嫌、ふわふわがいい | ・孫が来るのは嬉しいけど長くいると疲れる |
| ・趣味(K-POP)の時間 | ・一人の時間、自分の時間 |
| ・二胡を弾く。二胡をいつまでも弾きたい | ・友人との時間 |
| ・韓国語の勉強 韓国旅行 | ・何か資格を取りたい |
| ・山登り | ・友人と四国巡り |
| ・ドライブ | ・孫のイベントに参加、子供の応援 |
| ・女子会 飲み会 | ・お線香のにおいが好き |
| ・健康づくり | ・お世話になった方への感謝 |
| ・子供と夫にありがとうを伝えたい | ・寝ること |
| ・映画館に見に行く | ・旅行先のグルメを食べる |
| ・のんびり、ゆったり | ・夕日 海 ポーっとしていたい |
| ・死ぬその日までビールを飲みたい | ・子供達に挟まれて寝たい |
| ・高校野球観戦 | ・くだらない話をして笑うこと |
| ・自分のことを大事にしたい | ・いざ聞かれると分からない |
| ・家族の時間 | ・他の人に迷惑をかけられない、ピンピンコロリを目指す |
| ・ダイエット | ・父、母、兄弟と旅行したい⇒時間を大切にしたい |
| ・夫、子供とのこと、将来のことを大切にしたい | |
| ・福山雅治のファン⇒ライブに行く | ・家族旅行に行きたい |
| ・両親が喧嘩していた⇒笑って過ごしてほしい | |
| ・掃除がしたい | ・親子で仲良くしてほしい |
| ・6年生の子供がいるのでゆっくりしたい | ・認知症の母のこと |

自分を一番理解してくれている人

- | | | | | | |
|------------|---------|-----|----|----|-----|
| ・小学校の時の同級生 | ・お母さん | ・友達 | ・娘 | ・妹 | ・子供 |
| ・夫(一応) | ・山登りの友達 | | | | |

その他

- ・真面目な人ほどうつになりやすい
- ・同窓会で話す
- ・元気なうちに書く
- ・価値観の違いを感じた
- ・嫌なことを聞く
- ・病院で聞くと縁起でもないと言われたりする
- ・割と仕事のことがばかり考えている
- ・書いたことを家族に伝えておく必要がある
- ・信頼関係大切
- ・利用者の気持ちを引き出すのは難しい
- ・認知症になる前に書かないといけない
- ・親の子とも考えていかなければと感じた
- ・今「何をしたいか」いざ聞かれると分からない
- ・考えた時に自分のことでなく子供のことが中心になっているという事に気付いた
- ・年代によっても違うかも、元々好きだったものでも変わってきた(買い物・料理など)、料理も同じものばかり作るようになり、栄養などは二の次になってきた
- ・食べられなくなった人でも食べたいものがあるのでは(患者さん・利用者さんでも)
- ・元気なうちでないともしものことは考えられない、できる時にしないとと思う
- ・入院先から「帰りたい」という家族。仕事を辞めることも考える時に、自分の生活とどう天秤にかけか、とても難しいと思う
- ・本人の思いと家族の思いがなかなか一致しない、同居していたり、普段関わっている人はそこまで食い違いがない印象がある
- ・聞き方によってはストッパーになりかねない、聞き方大切
- ・疼痛コントロールについて、15 年前よりだいぶ麻薬を使うようになった
- ・本人が何も処置を希望していなくても、家族は本人の最期の姿を見ると生きて欲しいと思い、延命処置を希望したりする
- ・文字にしてみることの大切さ(家族の意向のずれがあった時、それをもとに本人の思いを共有できる)
- ・早めに、元気なうちにピース・思いを共有できていればよかった、家族で共有しておけばよかった
- ・最期どうするか決めていても気持ちは変わる、継続して ACP 聞いていく必要がある
- ・「家に帰る」など最終の目標が決まっていれば、ACP は話しやすいけど、きっかけがないと話すのは難しい
- ・独居でノート書いていたが、子供は県外にいる場合、県外の家族にうまく伝わるのか⇒退院支援のタイミングで他の書類と合わせて共有等、工夫すると良いのではないか
- ・ACP を中途半端にしている人に ACP を聞いた時、「自分長くないのかな？」と勘違いしてしまう可能性も⇒話し方が大切、動画がもっと広まったら良い、もっと周知していくことが大切
- ・マイライフノート、繰り返し書き直しできるところがとても良い
- ・普段からのやりとりで情報は得られているけれど、本人の気持ちを本人の言葉であればより良いケアができるのではないか
- ・年齢から必要ではないと思っていたが、若い時から考えていくことが必要だと感じた
- ・仕事からではなく、日頃家族と話す中で話題になればよい
- ・若い時から考えることで、自身が年を重ねた時に当たり前になっているのでは
- ・自分の意志を残すことで家族が楽になるかも
- ・訪看で関わる方には希望・主訴を聞くようにしている
- ・私らしゅう生きるノートを見るだけで考えるきっかけになる
- ・お金のこと、仕事のことなど心配になる事が多い
- ・病気のことを言う(伝える)のは年齢と病状にもよる
- ・孫と祖父母で書く
- ・「元気になったら何したい？」
- ・事前情報からヒントを得て会話を広げる
- ・経験者から話があると良いかも、事例紹介
- ・延命治療や処置について普及した方がいい
- ・頭の中で考えていることを文章にすることが大切
- ・親に書いてもらえるようにしたい
- ・信頼関係かできる前に終末期のことは言いにくい